

災害の概況

(令和2年)

鳥取県西部広域行政管理組合

消 防 局

目次

(ページ数)

I 火災概況

1	火災の現況と最近の動向	1
	図 I - 1 火災件数の推移と傾向	1
	図 I - 2 火災による死者と負傷者	1
2	出火状況	2
	図 I - 3 火災種別ごとの件数と構成比	2
	図 I - 4 月別の火災種別ごと出火件数	2
	図 I - 5 市町村別火災件数と構成比	3
3	火災による死傷者の内訳	3
	表 I - 1 火災種別死傷者発生状況	3
4	出火原因	4
	図 I - 6 火災種別ごとの出火原因	4
	別表 I - 1 火災統括表	5
	別表 I - 2 市町村別火災状況 (その1)	6
	別表 I - 3 市町村別火災状況 (その2)	7

II 救急概況

1	救急出動件数、救急搬送状況	8
	図 II - 1 事故種別救急出動状況	8
	図 II - 2 事故種別救急搬送状況	8
	図 II - 3 過去5年間の救急推移	9
2	市町村別救急活動状況	9
	図 II - 4 市町村別救急活動状況	9
3	傷病程度別搬送状況	10
	図 II - 5 傷病程度別搬送状況	10
4	年齢別搬送状況	10
	図 II - 6 年齢別搬送状況	10
5	署所別救急活動状況	11
	図 II - 7 署所別救急活動状況	11
6	月別救急活動状況	11
	図 II - 8 月別救急活動状況	11
7	現場到着所要時間、収容所要時間	12
	図 II - 9 現場到着所要時間	12
	図 II - 10 収容所要時間	12
8	応急手当実施状況	13
	図 II - 11 応急手当実施状況	13
9	高度救命処置状況	13
	図 II - 12 高度救命処置件数	13

図Ⅱ－１３	医師引き継ぎ時の状況	13
1 0	救急講習件数の推移	14
図Ⅱ－１４	過去５年間の救急講習件数推移	14
図Ⅱ－１５	過去５年間の救急講習人員推移	14
1 1	市町村別救急活動の推移	15
表Ⅱ－１	過去５年間の市町村別救急件数	15
Ⅲ	救助概況	16
1	事故種別救助出動状況	16
図Ⅲ－１	事故種別救助出動状況	16
2	事故種別救助活動状況	16
図Ⅲ－２	事故種別救助活動状況	16
3	事故種別救助人員状況	17
図Ⅲ－３	事故種別救助人員状況	17
4	管轄別救助活動状況	17
図Ⅲ－４	管轄別救助活動状況	17
5	市町村別救助活動状況	18
図Ⅲ－５	市町村別救助活動状況	18
6	月別救助活動状況	18
図Ⅲ－６	月別救助活動状況	18
Ⅳ	119番着信概況	19
1	着信件数の概況	19
表Ⅳ－１	着信件数内訳	19
2	月別の119番着信状況	19
表Ⅳ－２	月別119番着信状況	19
3	電話種別による119番着信状況	20
表Ⅳ－３	電話種別による119番着信件数の推移	20
表Ⅳ－４	電話種別による通報状況	20
4	携帯電話からの着信状況	21
表Ⅳ－５	携帯電話からの着信状況	21
表Ⅳ－６	携帯電話の消防機関別転送状況	21
5	時間帯別119番通報の着信状況	21
図Ⅳ－１	時間帯別着信状況	21

注：本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

I 火災概況

(令和2年1月～令和2年12月)

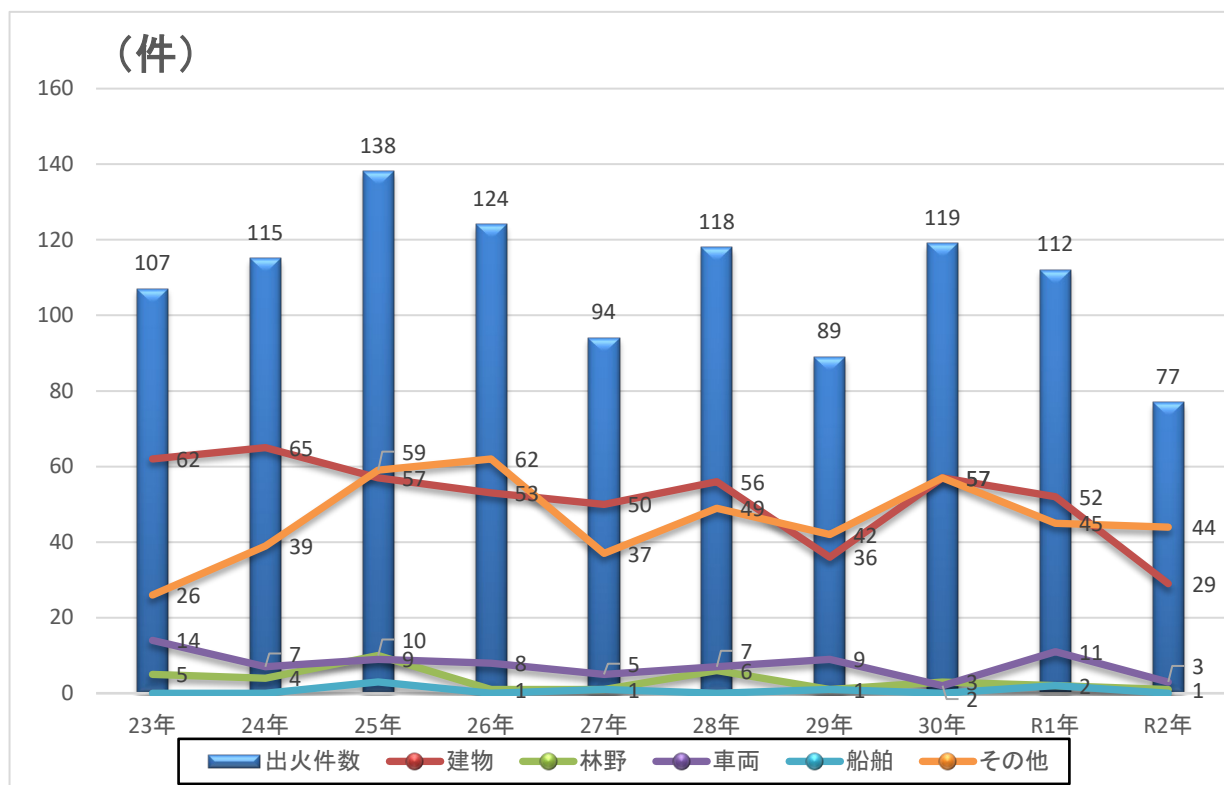
1 火災の現況と最近の動向

この10年間の火災件数をみると、平均して110件前後で推移しており、令和2年は**77件**で、前年と比較して35件(31.2%)の減少となりました。特に建物火災が前年と比較して23件(44.2%)減少しました。過去10年間で最も少ない火災件数でした。

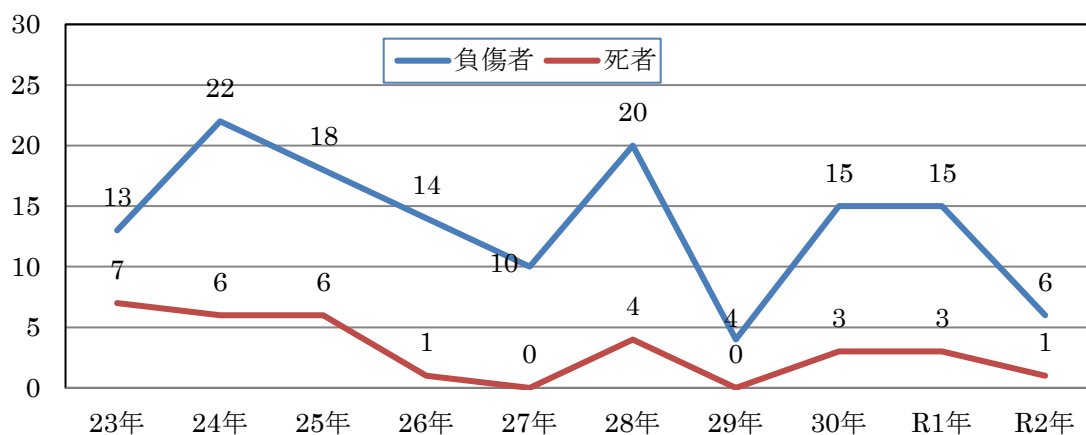
火災による死者は1人、負傷者は6人でした。

(図I-1、図I-2参照)

図I-1 火災件数の推移と傾向



図I-2 火災による死者と負傷者



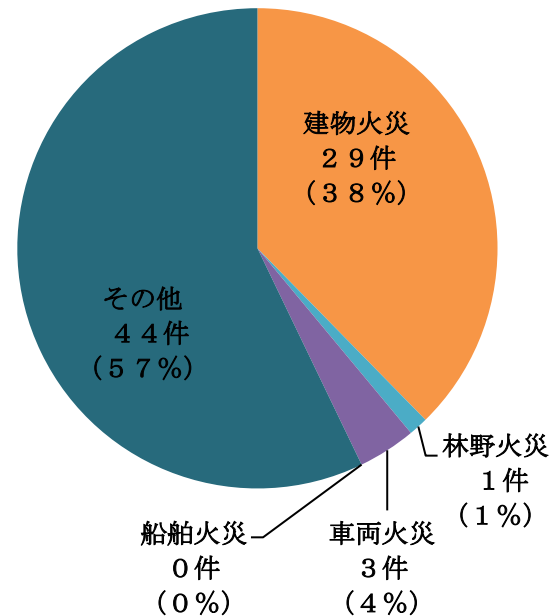
2 出火状況

(1) 建物火災は火災全体の38%

火災件数の構成比率をみると、その他火災が57%で最も高い比率を占め、その次に建物火災が38%となっています。

(図I-3参照)

図I-3 火災種別ごとの件数と構成比



(2) 建物火災による損害額は減少

建物火災の損害額は前年と比較し3,182万4千円減少しました。

(別表I-1参照)

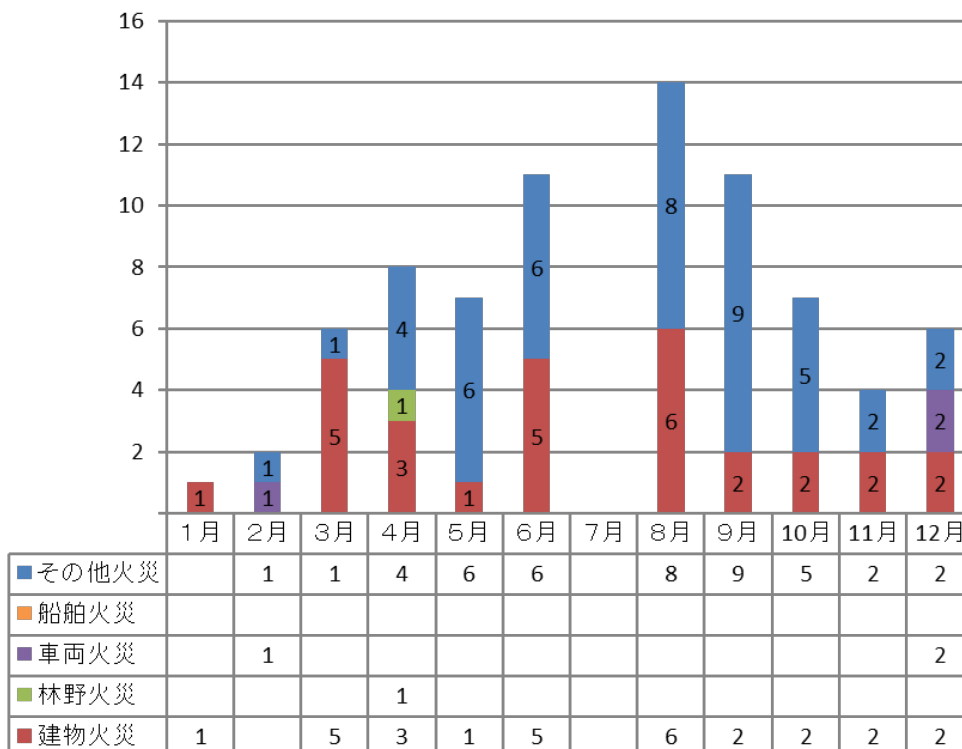
(3) 建物火災は8月に多く発生

火災種別ごとの出火件数を月別でみると、建物火災は29件で、3月、6月、8月に多く発生しています。その他火災は44件で、5月から10月までの間に34件発生しています。

7月は火災の発生がありませんでした。

(図I-4参照)

図I-4 月別の火災種別ごと火災件数

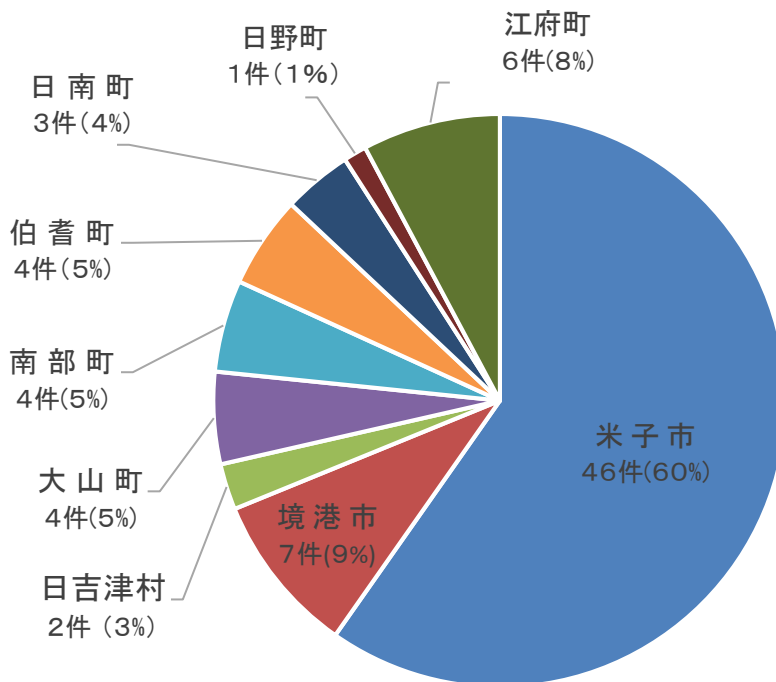


(4) 市町村別火災状況

火災件数を市町村別で見ると、米子市が46件(60%)と最も多く、次いで境港市7件(9%)、江府町6件(8%)となりました。

(図I-5、別表I-2、別表I-3参照)

図I-5 市町村別火災件数と構成比



3 火災による死傷者の内訳

火災による死者は1名、負傷者は6名でした。

(表I-1参照)

表I-1 火災種別死傷者発生状況

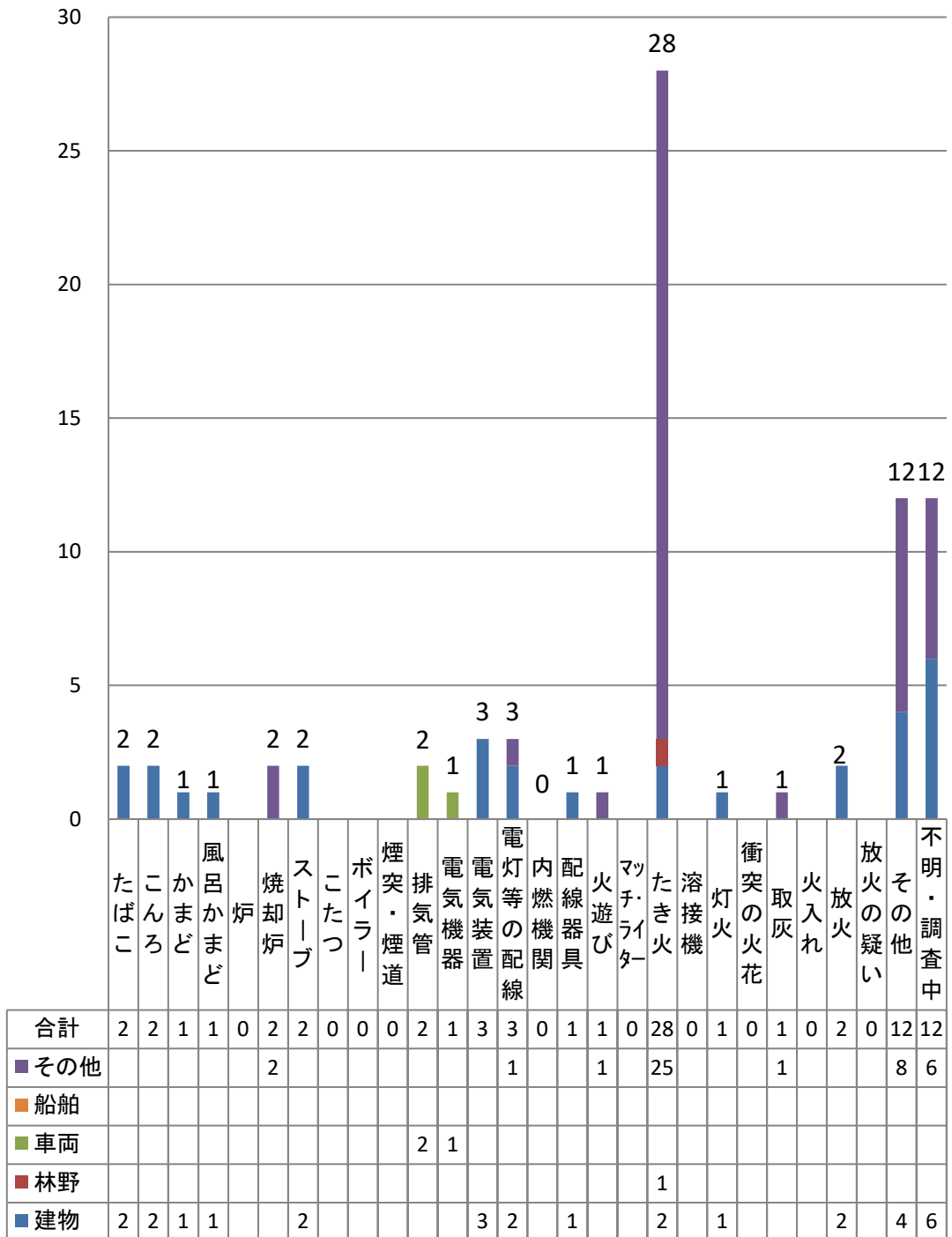
	合計	建物火災						車両火災	林野火災	その他火災
		小計	住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	その他			
死者	1									1
負傷者	6	6	5				1			

4 出火原因

「たき火」が28件と最も多く、次いで「電気装置及び電灯等の配線」が3件、「たばこ」、「こんろ」、「焼却炉」、「ストーブ」、「排気管」及び「放火」が2件となっています。

前年と比較し「たばこ」、「ストーブ」及び「その他」による出火原因が減少しました。(図I-6参照)

図I-6 火災種別ごとの火災原因



別表 I - 1 火災統括表

区 分 (単 位)	平成 23 年	令和元年	令和 2 年	増 減
出火件数	107	112	77	△ 35
建物火災	62	52	29	△ 23
林野火災	5	2	1	△ 1
車両火災	14	11	3	△ 8
船舶火災		2		△ 2
その他火災	26	45	44	△ 1
焼損棟数 (棟)	101	72	38	△ 34
全 焼	33	18	8	△ 10
半 焼	10	4	3	△ 1
部 分 焼	33	15	11	△ 4
ぼ や	25	35	16	△ 19
建物焼損床面積 (㎡)	5,497	3,784	1,192	△ 2,592
建物焼損表面積 (㎡)	175	881	167	△ 714
林野焼損面積 (a)	21	0	0	0
死 者 (人)	7	3	1	△ 2
負傷者 (人)	13	15	6	△ 9
り災世帯数 (世帯)	52	31	18	△ 13
全 損	11	9	4	△ 5
半 損	7	1	2	1
小 損	34	21	12	△ 9
り災人員 (人)	146	65	32	△ 33
損 害 額 (千円)	207,316	142,013	105,658	△ 36,355
建物火災	196,727	137,005	105,181	△ 31,824
林野火災	462	3	0	△ 3
車両火災	9,914	1,426	50	△ 1,376
船舶火災		3,500	0	△ 3,500
その他火災	213	79	427	348
爆 発	0	0	0	0
出 火 率 (件/万人)	4.61	5.10	3.32	△ 1.78

別表 I - 2 市町村別火災状況 (その 1)

市町村名	火災件数		焼損面積				焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		損害額 (千円)
	合計	前(年)内件数は	建物	林野	車両	船舶				その他	床面積㎡	
米子市	46	(50)	19	2	25	970	98	25	12	19	4	100,238
境港市	7	(17)	5		2	160	3	6	5	10	2	3,513
日吉津村	2	(2)	1		1	33	5	3	1	3		727
大山町	4	(19)	1	1	2			1				6
南部町	4	(5)	1	1	2	29	1	1				448
伯耆町	4	(7)			4		60					24
日南町	3	(3)	1		2			1		1		700
日野町	1	(4)			1							
江府町	6	(5)	1		5			1				2
合計	77	(112)	29	3	44	1,192	167	38	18	32	6	105,658

出火原因 (管内合計)

出火原因	令和2年	令和元年
合計	77	112
たばこ	2	9
こんろ	2	4
かまど	1	
風呂	1	1
炉		
焼却炉	2	1
ストーブ	2	7
こたつ		
ボイラー		1
煙突		1
排気管	2	1
電気機器	1	1
電気装置	3	2
電灯配線	3	2
内燃機関		
配線器具	1	4
火あそび	1	2
マッチ等		1
たき火	28	25
溶接機器		
灯火	1	
衝突火花		
取灰	1	
火入れ		1
放火	2	1
放火疑		
その他	12	28
不明・調査中	12	21

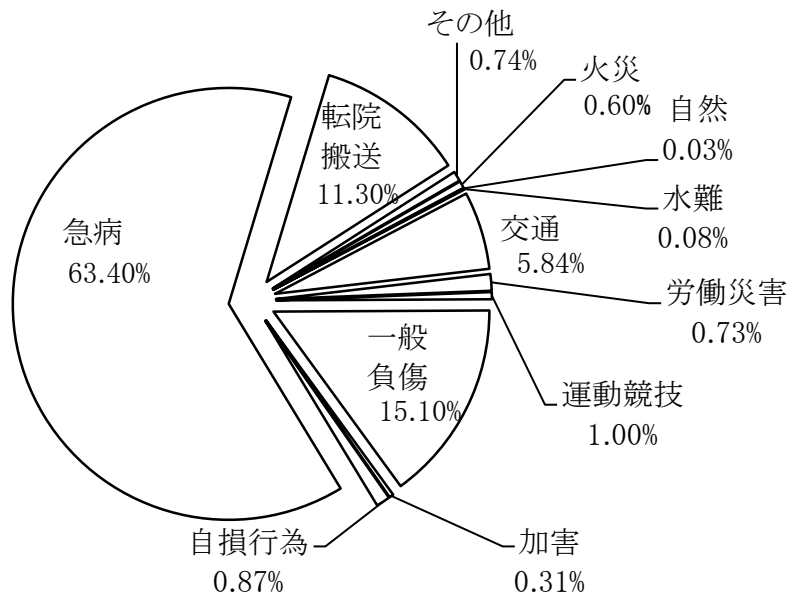
別表 I - 3 市町村別火災状況 (その2)

	令和2年					令和元年					平成30年					平成29年					平成28年									
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	建物	林野	車両	船舶	その他						
米子市	46	19		2		25	50	20		5		25	64	32		2		30	49	20		3		26	62	35	1	3		23
境港市	7	5			2	2	17	11			2	4	13	7			6	15	5		1	1		8	13	6	1		6	
日吉津村	2	1				1	2	1				1	2	2				2	1					1	1				1	
大山町	4	1		1		2	19	9	1	2	7	14	4				10	8	5					3	16	5	2	3	6	
南部町	4	1	1			2	5		1		4	9	3	3			3	4	2			1		1	7	1	1		5	
伯耆町	4					4	7	5	1	1	1	7	4				3	4				2		2	10	3	2		5	
日南町	3	1				2	3	2	1			4	4					2	1	1				4	4	3			1	
日野町	1					1	4	2	1		1	4	1				3	2	1			1		2	2					
江府町	6	1				5	5	2	1		2	2					2	3	1			1		1	3	1			2	
合計	77	29	1	3	0	44	112	52	2	11	2	45	119	57	3	2	0	57	88	36	1	9	0	42	118	56	6	7	49	

1 救急出動件数、救急搬送状況

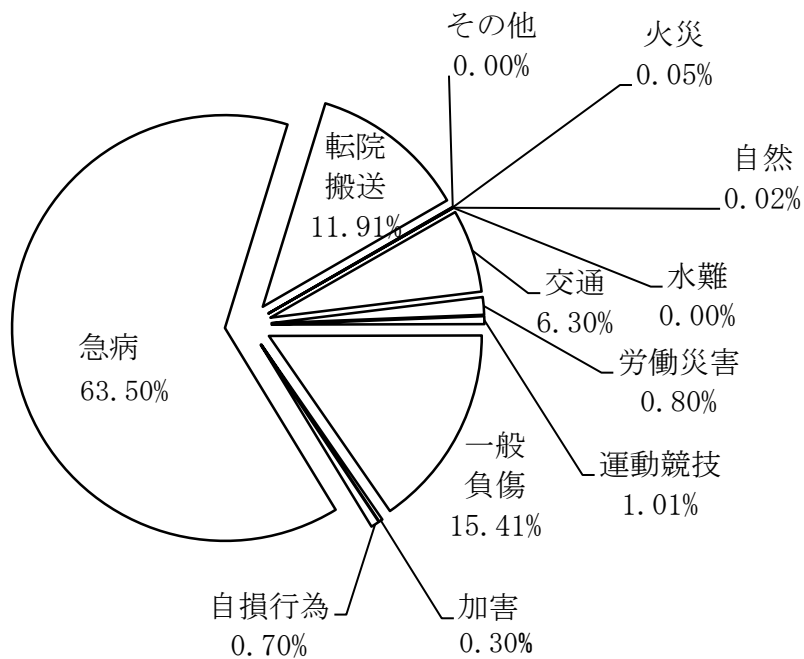
令和2年中の救急出動件数は、前年に比べて1,080件減の10,544件、搬送人員は901人減の9,905人で、件数、人員ともに大幅に減少しました。（別図Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3参照）

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



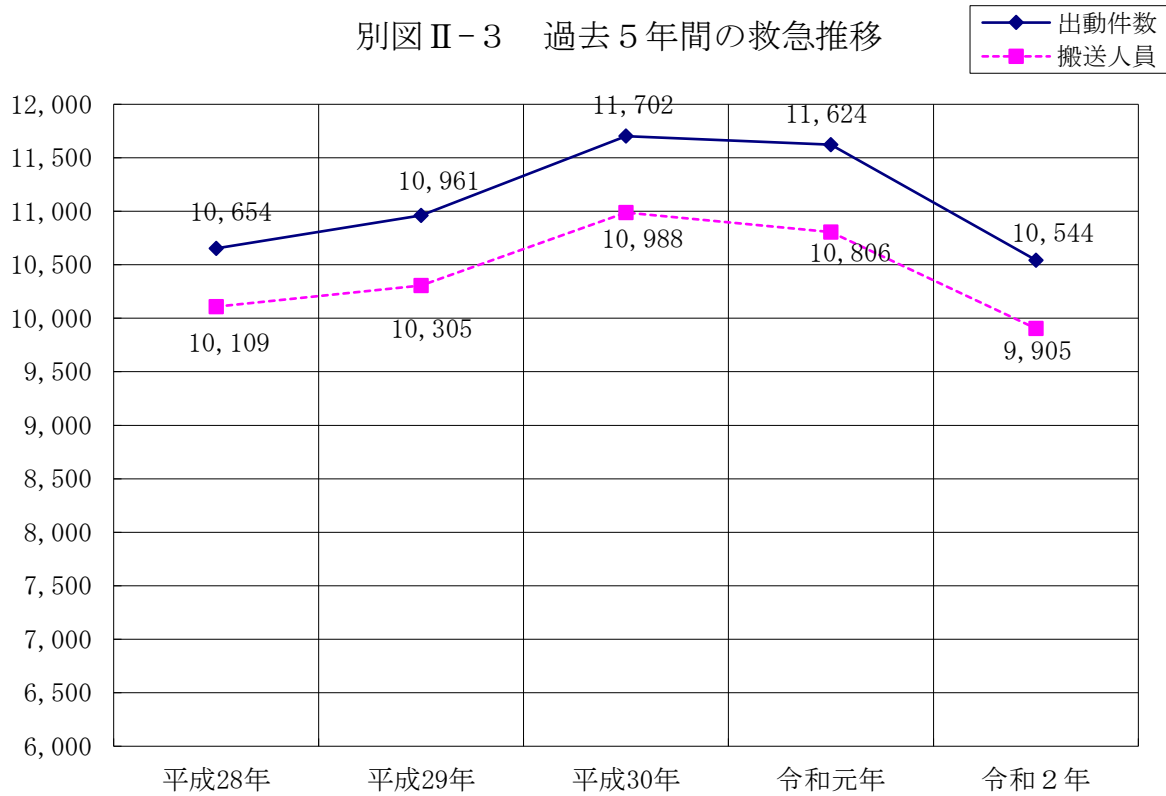
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	57	3	8	615	131	56	1,588	33	109	6,679	1,187	78	10,544

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	5	2	0	624	132	59	1,526	27	64	6,286	1,180	0	9,905

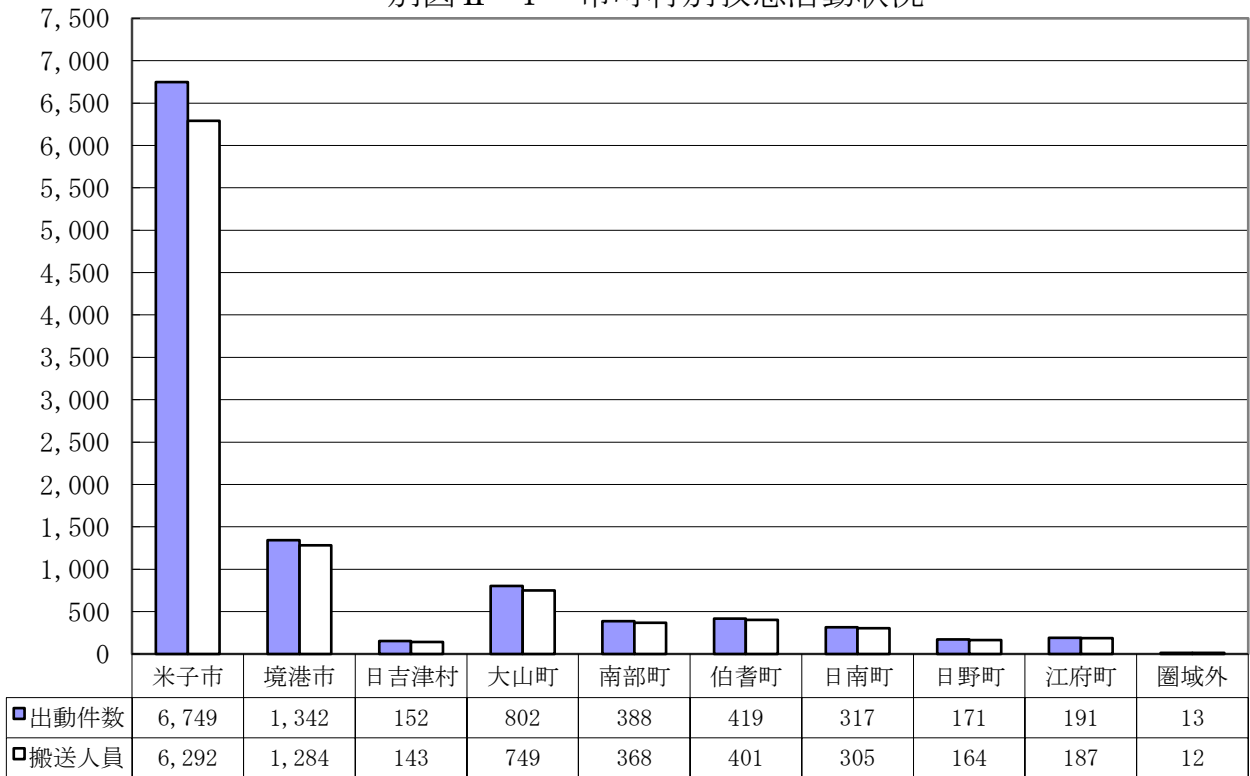
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



2 市町村別救急活動状況

令和2年中はすべての市町村で救急件数が減少しました。(別図Ⅱ-4参照)

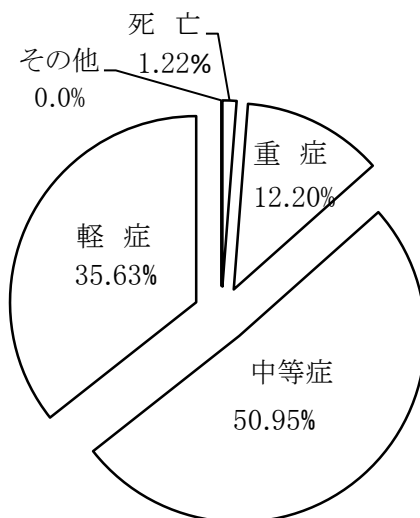
別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況



3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が5,046人(50.9%)で最も多く、次いで軽症が3,529人(35.6%)、重症が1,209人(12.2%)となっています。(別図Ⅱ-5参照)

別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況

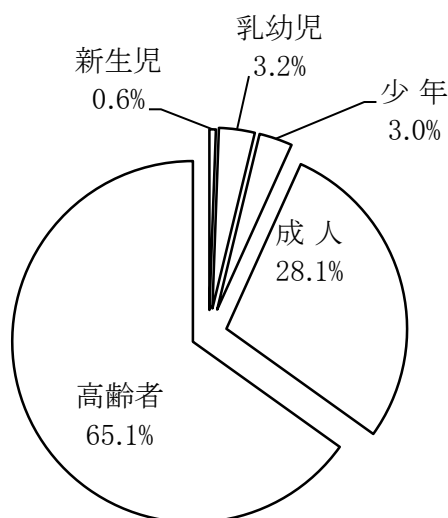


程 度	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
搬送人員	121	1,209	5,046	3,529	0	9,905

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が6,449人(65.1%)と最も多くなっています。(別図Ⅱ-6参照)

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

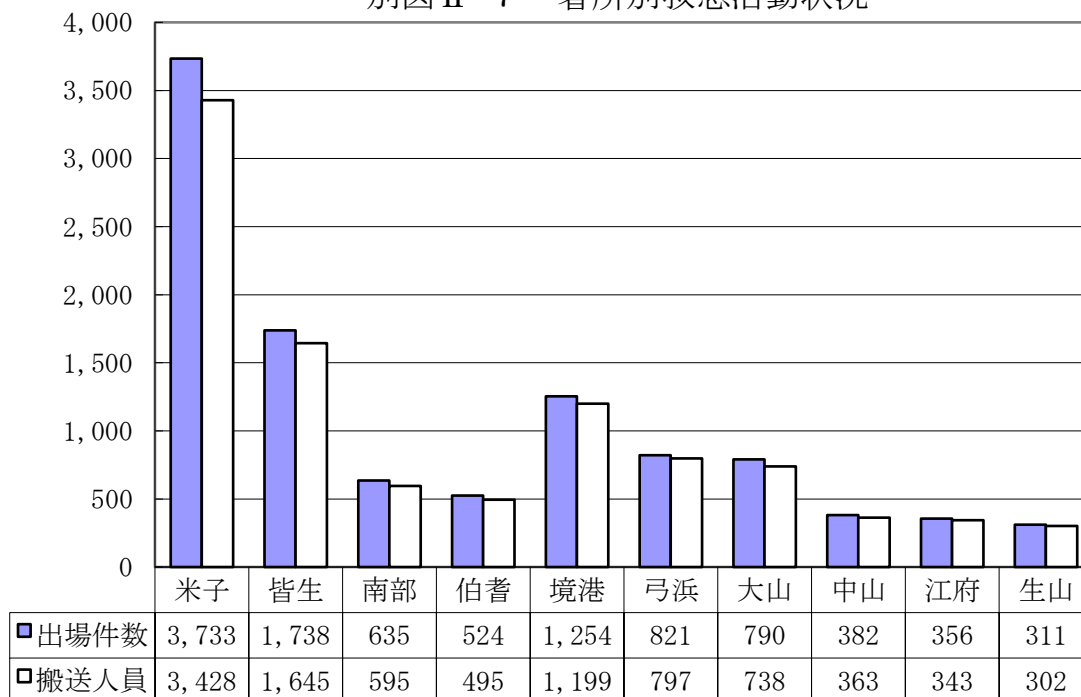


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
搬送人員	57	317	295	2,787	6,449	9,905

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ3,733件(35.4%)、3,428人(34.6%)と最も多くなっています。(別図Ⅱ-7参照)

別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況

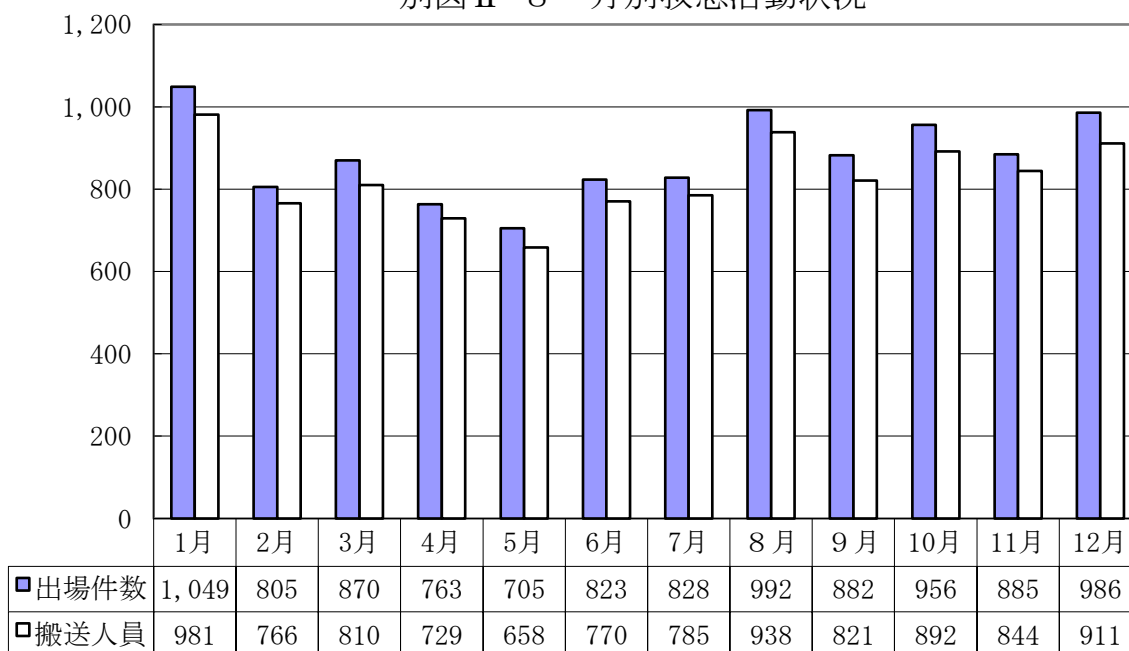


6 月別救急活動状況

月別の最多出動件数は、1月が1,049件(9.8%)、続いて8月の992件(9.4%)、12月986件(9.3%)、10月956件(9.0%)となっています。

搬送人員は、1月が981人(9.9%)で最も多く、続いて8月の938人(9.4%)、12月911人(9.1%)10月892人(9.0%)となっています。(別図Ⅱ-8参照)

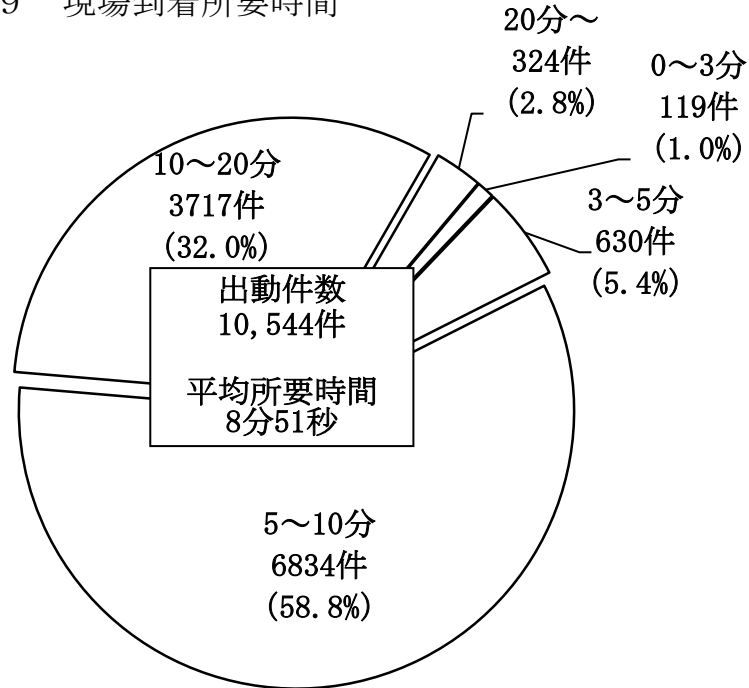
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



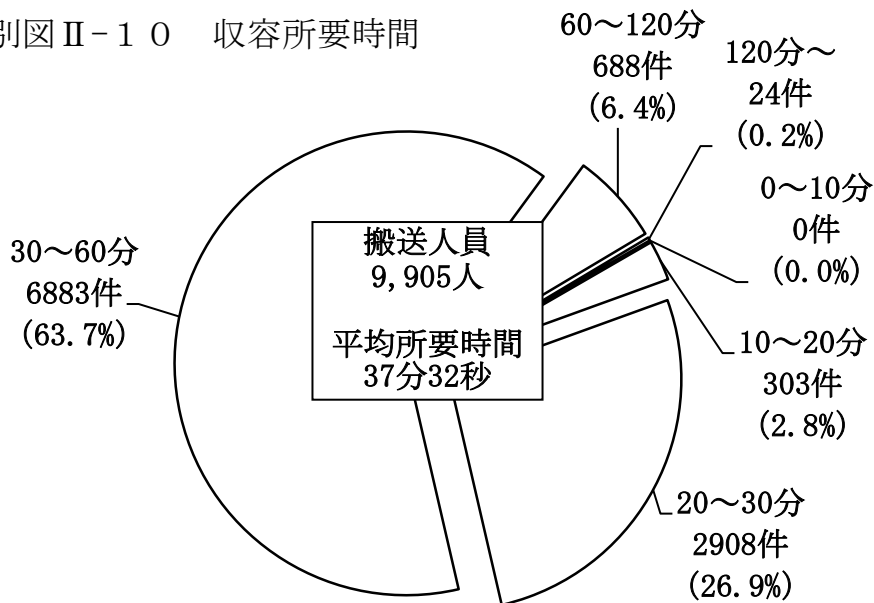
7 現場到着所要時間、收容所要時間

平均現場到着所要時間は8分51秒で昨年より3秒減少し、平均收容所要時間は37分32秒で前年より4秒減少しました。(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



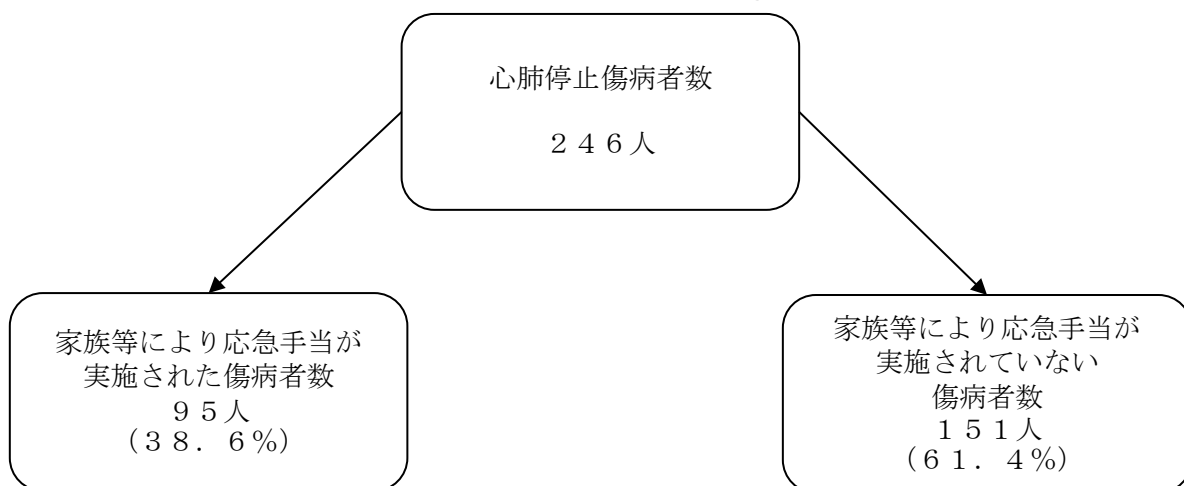
別図Ⅱ-10 收容所要時間



8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者246人のうち、家族等により応急手当を受けた人は95人(38.6%)でした。(別図Ⅱ-11参照)

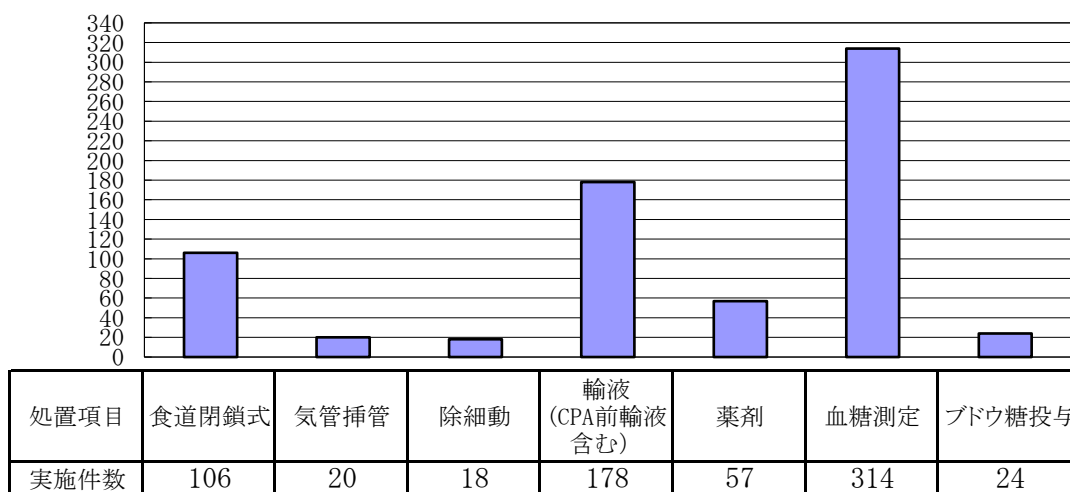
別図Ⅱ-11 応急手当実施状況



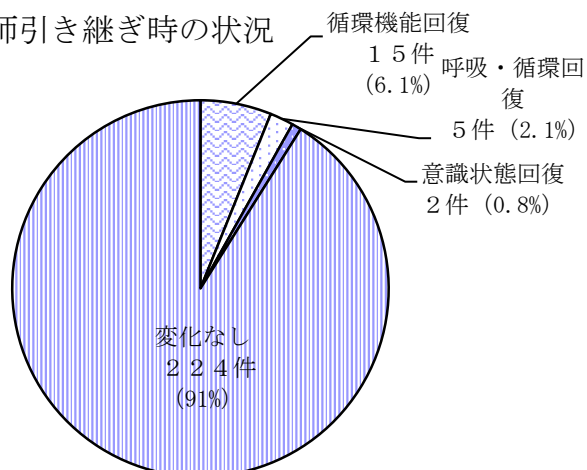
9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者246人のうち、救急救命士の高度救命処置により、22人が機能回復されました。(別図Ⅱ-12、Ⅱ-13参照)

別図Ⅱ-12 高度救命処置件数



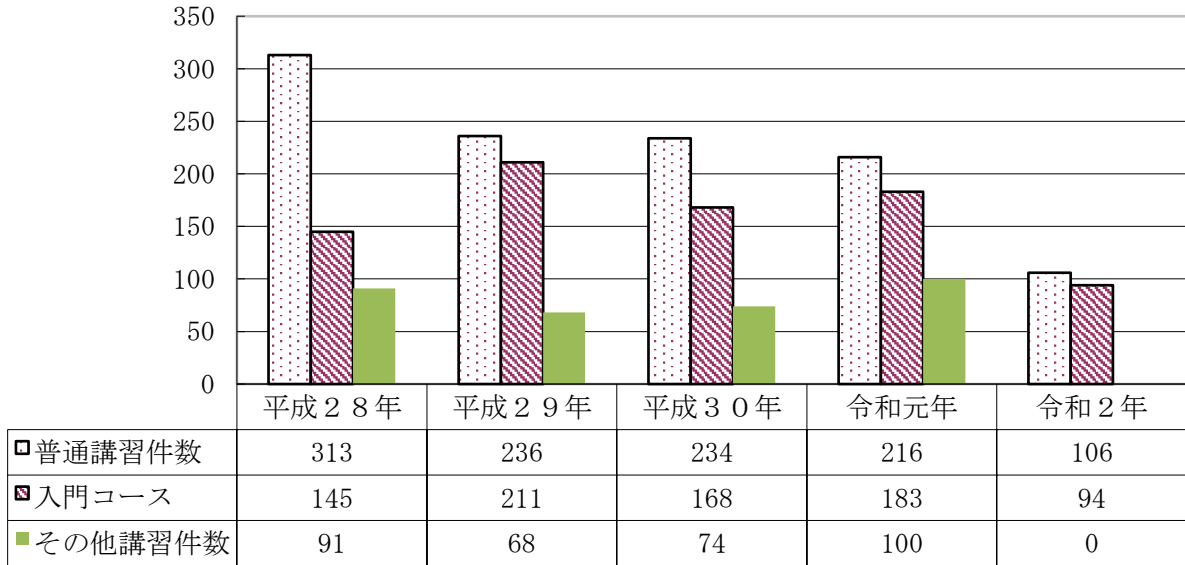
別図Ⅱ-13 医師引き継ぎ時の状況



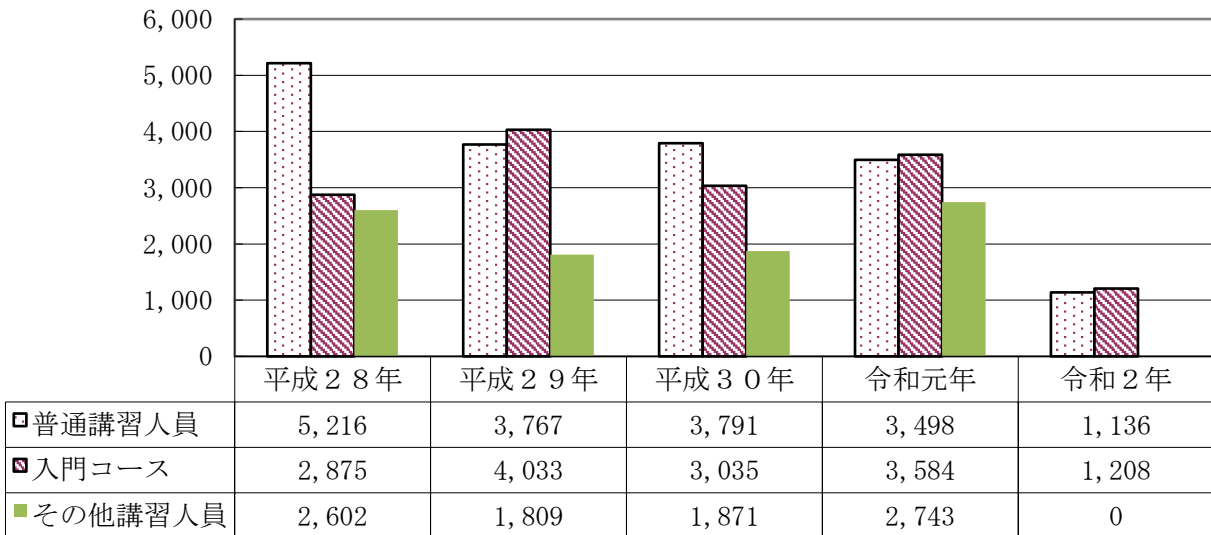
10 救急講習件数の推移

令和2年中は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、救急講習を長期間中止したことにより、実施件数は例年の約半数となりました。（別図Ⅱ-14、Ⅱ-15参照）

別図Ⅱ-14 過去5年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ-15 過去5年間の救急講習人員推移



11 市町村別救急活動の推移です。過去5年間の救急件数の推移を見取ることができます。
 (別表Ⅱ－1参照)

別表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
米子市	件数	6,628	6,713	7,332	7,351	6,749
	搬送人員	6,263	6,277	6,837	6,798	6,292
境港市	件数	1,450	1,501	1,572	1,548	1,342
	搬送人員	1,389	1,428	1,493	1,438	1,284
日吉津村	件数	145	178	173	165	152
	搬送人員	144	173	165	158	143
大山町	件数	783	842	885	872	802
	搬送人員	746	790	834	812	749
南部町	件数	369	394	446	428	388
	搬送人員	352	379	432	406	368
伯耆町	件数	525	548	504	532	419
	搬送人員	502	520	478	503	401
日南町	件数	327	336	324	321	317
	搬送人員	307	317	309	304	305
日野町	件数	191	192	209	191	171
	搬送人員	184	176	190	180	164
江府町	件数	223	245	238	202	191
	搬送人員	213	234	232	196	187
圏域外	件数	13	12	19	14	13
	搬送人員	9	11	18	11	14
合計	件数	10,654	10,961	11,702	11,624	10,544
	搬送人員	10,109	10,305	10,988	10,806	9,907

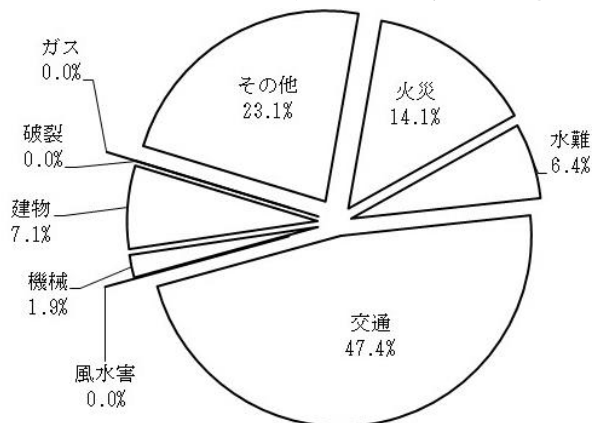
Ⅲ 救助概況

(令和2年1月～12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は156件あり、そのうち交通事故が74件(47.4%)、その他の事故が36件(23.1%)、火災が22件(14.1%)、建物等による事故11件(7.1%)、水難事故が10件(6.4%)、機械による事故が3件(1.9%)の順となっています。(図Ⅲ-1参照)

図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況

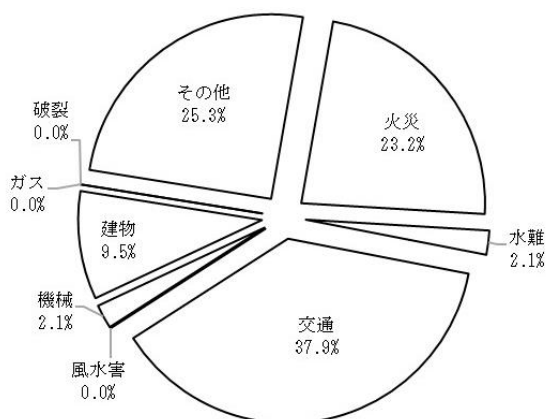


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	22	10	74	0	3	11	0	0	36	156

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は95件あり、そのうち交通事故が36件(37.9%)、火災が22件(23.2%)、その他の事故が24件(25.3%)、建物等による事故が9件(9.5%)、水難事故が2件(2.1%)、機械による事故が2件(2.1%)の順となっています。(図Ⅲ-2参照)

図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



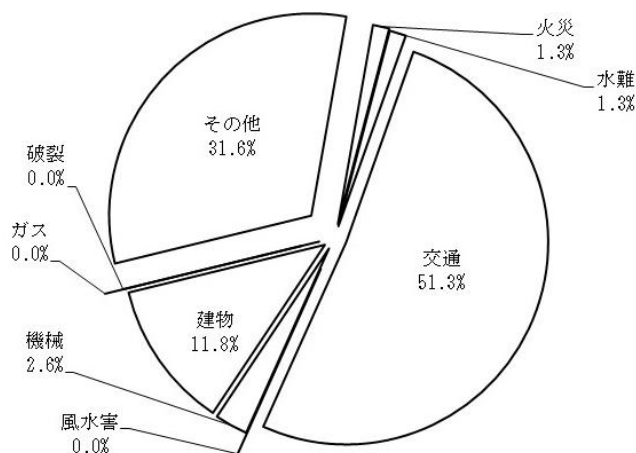
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	22	2	36	0	2	9	0	0	24	95

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は76人あり、そのうち交通事故が39人(51.3%)と最も多く、次いでその他の事故が24人(31.6%)、建物等による事故が9人(11.8%)、機械による事故が2人(2.6%)、水難事故が1人(1.3%)、火災が1人(1.3%)の順となっています。

(図Ⅲ-3 参照)

図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況



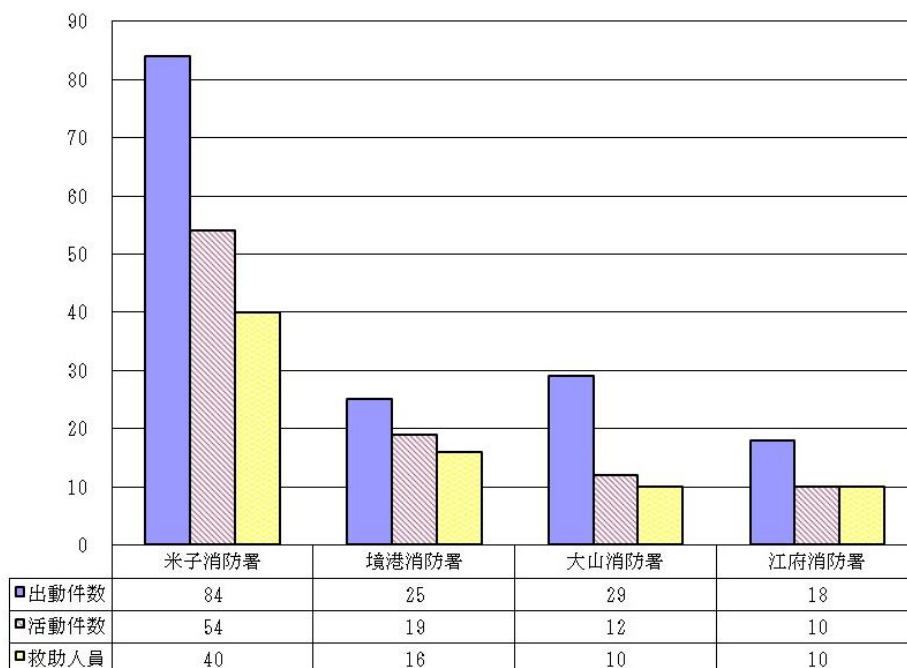
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	1	1	39	0	2	9	0	0	24	76

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が84件(53.8%)と最も多く、次いで大山消防署が29件(18.6%)、境港消防署が25件(16.0%)、江府消防署18件(11.5%)の順となっています。

(図Ⅲ-4 参照)

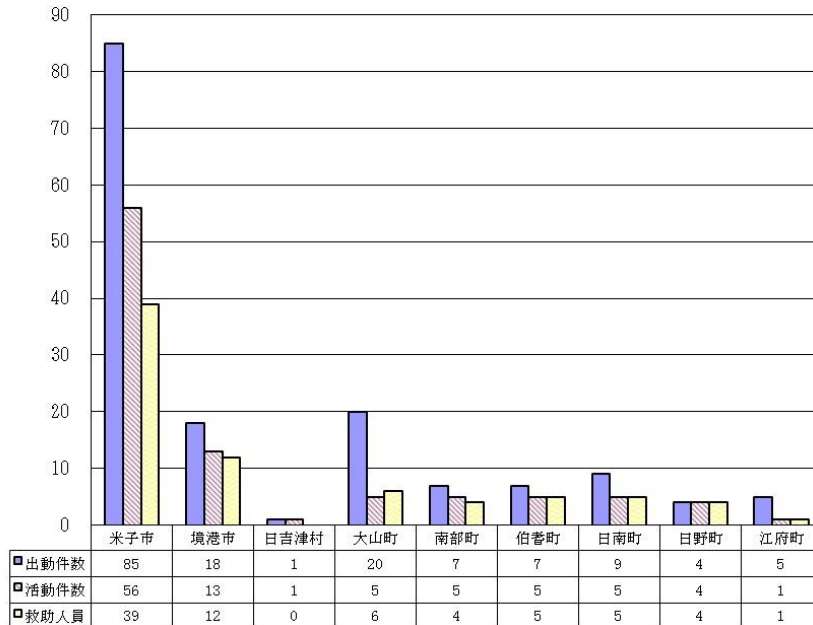
図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較してみると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数85件（54.5%）、次いで大山町が20件（12.8%）、境港市が18件（11.5%）、日南町が9件（5.8%）等の順となっております。（図Ⅲ－5参照）

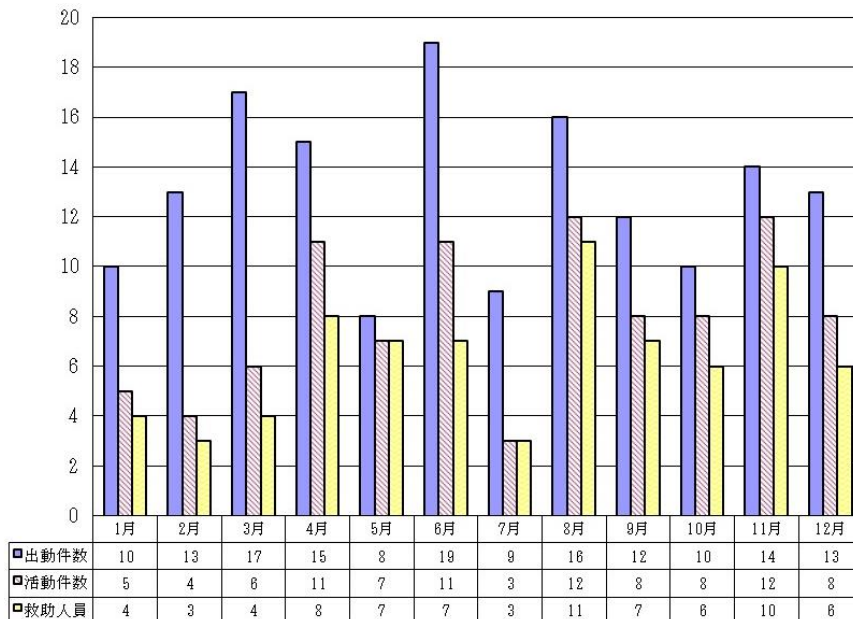
図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、6月が19件（12.2%）と最も多く、次いで3月が17件（10.9%）、8月が16件（10.3%）、4月が15件（9.6%）、11月が14件（9.0%）等の順となっています。（図Ⅲ－6参照）

図Ⅲ－6 月別救助活動状況



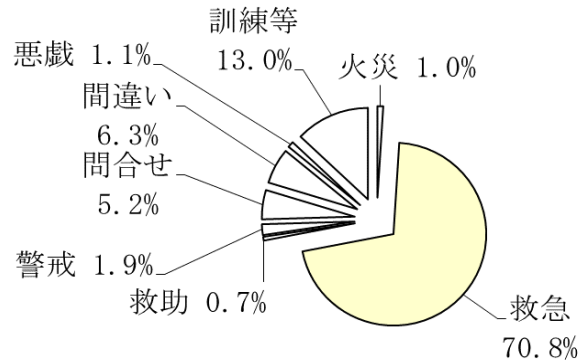
IV 119番着信概況

(令和2年1月～12月)

1 着信件数の概況

令和2年中の119番通報の着信件数の概況は、総着信件数14,325件で昨年に比べ1,254件(8%減)少なくなっています。1ヶ月平均にすると約1,194件、1日平均では約39件の着信となります。通報種別としては、救急が最も多く10,167件(70.8%)でした。火災は142件(1.0%)、救助96件(0.7%)、警戒272件(1.9%)、病院などに関する問い合わせ等741件(5.2%)、間違い900件(6.3%)、悪戯と思われるものが151件(1.1%)、通報訓練等1,856件(13.0%)でした。

(表IV-1参照)



表IV-1 着信件数内訳

火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
142	10,167	96	272	741	900	151	1,856	14,325

2 月別の119番着信状況

月別で着信件数の最も多かったのは3月の1,343件で、最も少なかったのは5月の956件でした。救急通報で最も多かったのは1月の1,022件、最も少なかったのは5月の685件で、月平均約847件でした。火災通報で最も多かったのは9月の23件、最も少なかったのは2月の1件で、月平均約11.8件でした。

(表IV-2参照)

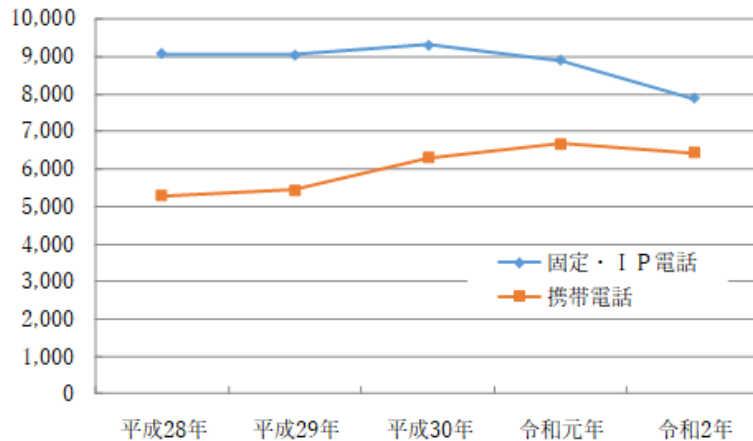
表IV-2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	17	1,022	3	15	61	61	15	138	1,332
2月	1	773	6	17	53	38	7	107	1,002
3月	11	829	14	21	59	76	7	326	1,343
4月	14	728	9	15	51	54	12	127	1,010
5月	13	685	4	19	51	84	9	91	956
6月	17	798	13	22	60	68	13	158	1,149
7月	4	822	7	19	48	84	4	141	1,129
8月	14	962	13	27	84	96	19	77	1,292
9月	23	849	7	28	72	81	37	125	1,222
10月	8	940	5	20	73	84	8	182	1,320
11月	10	829	9	27	66	77	13	209	1,240
12月	10	930	6	42	63	97	7	175	1,330
合計	142	10,167	96	272	741	900	151	1,856	14,325
月平均	11.8	847.3	8	22.7	61.8	75	12.6	154.7	1,193.9

3 電話種別による119番着信状況

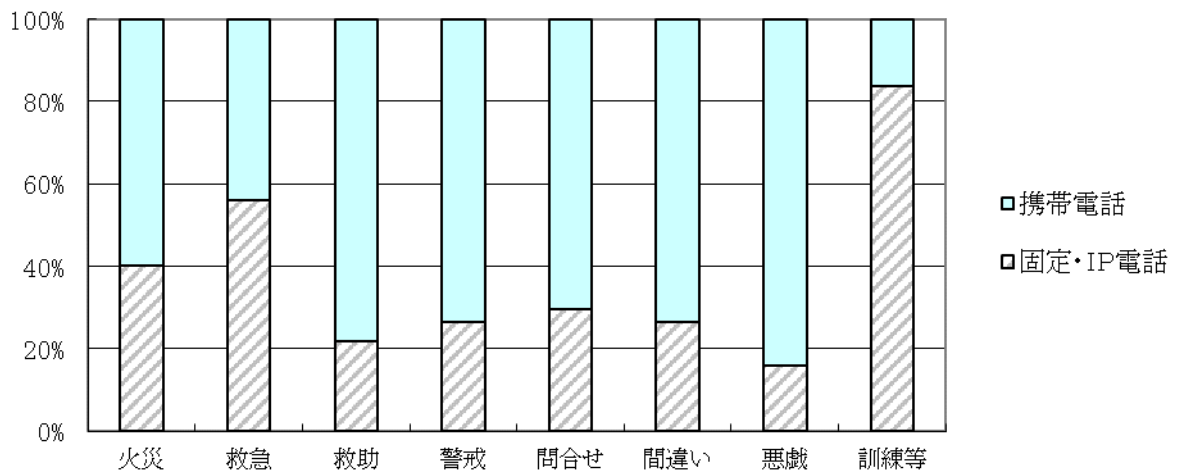
電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話は7,882件で1,023件の減少、携帯電話は6,443件で231件の減少でした。固定・IP電話、携帯電話からの通報は共に減少傾向にあります。

災害別に電話種別による通報状況を見ますと、火災、救助、警戒など衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が約70.0%と高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定・IP電話での通報比率が約57.0%と高くなっています。(表IV-3、IV-4参照)



表IV-3 電話種別による119番着信件数の推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
固定・IP電話	9,069	9,047	9,329	8,905	7,882
携帯電話	5,296	5,448	6,304	6,674	6,443
合計	14,365	14,495	15,633	15,579	14,325



表IV-4 電話種別による通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定・IP電話	57	5,698	21	72	218	238	24	1,554	7,882
携帯電話	85	4,469	75	200	523	662	127	302	6,443
合計	142	10,167	96	272	741	900	151	1,856	14,325

4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は6,443件で、総着信件数の約45.0%でした。また、携帯電話からの問合せ、間違いなどの通報が多くみられます。

西部消防圏域内から他の消防機関へ着信した119番通報を転送受信した件数は61件でした。逆に西部消防圏域外から着信した119番通報を他の消防機関へ転送処理した件数は76件ありました。(表IV-5、IV-6参照)

表IV-5 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
6,381	61	6,443	76

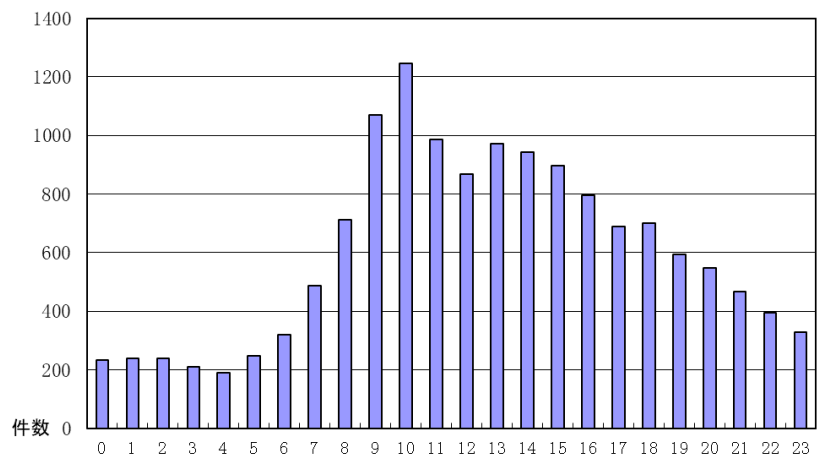
表IV-6 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
	火災	救急	その他	合計		火災	救急	その他	合計
松江	0	13	1	14	松江	3	28	5	36
安来	0	25	5	30	安来	0	18	0	18
東部	0	7	1	8	東部	0	2	0	2
中部	0	3	1	4	中部	0	7	1	8
その他	0	5	0	5	その他	0	12	0	12
合計	0	53	8	61	合計	3	67	6	76

消防機関名のその他の内訳は、転送を受信した件数5件のうち東京消防庁が2件、千葉市消防局が1件、浜田市消防本部が1件、相模原市消防局が1件。転送した件数12件のうち東京消防庁が1件、千葉市消防局が1件、大阪市消防局が2件、東大阪市消防局が1件、京都市消防局が1件、備北地区消防組合が3件、広島市消防局が1件、新見市消防本部が1件、出水市消防本部が1件でした。

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別に119番通報の着信比率を見ると、一般的な活動時間帯(午前8時～午後9時台)では全体の約79.0%で、睡眠時間帯(午後10時～午前7時台)では約21.0%でした。



その火事を 防ぐあなたに 金メダル

2020年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市上福原313番地1	683-0004	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3136	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災……………予防課予防担当	0859-35-1954
救急……………警防課救急室	0859-35-1958
救助……………警防課消防第一担当	0859-35-1959
119番着信状況……指令課指令担当	0859-35-1960

令和3年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)